

## 7 ストーン、ブリックの貼り付け

ストーン、ブリックを貼り付ける際は、製品の範囲から接着モルタルが万遍なくはみ出るまで、よくもみ込むか、たたき込んでください。コーナーがある材料は、はじめにコーナーを貼り付けます。上部から下部へ貼り付けていってください。長方形の製品は、下から貼ることも可能ですが、貼り付け後に下部の製品に着いた接着モルタルは、必ず落としてください。



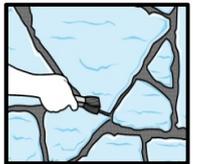
## 8 目地処理

モルタルバックなどを使用して目地部分に目地材を詰めてください。目地詰めはストーン、ブリック貼り付け後24時間以上の養生後に施工することをお勧めします。  
※外部に施工する際は、必ず、製品の厚みの2/3以上目地を詰めてください。接着面に水が回りこみ、剥離の原因になります。目地なしの施工の場合でも、接着モルタルが製品裏面からはみ出し、製品を包み込む程度までもみ込むか、たたき込んでください。ピプラートの機械などで押し込むことをお勧めします。



## 9 目地仕上げ

目地材の硬化を確認後、竹べらや、ブラシなどで余分な目地を掻き落とします。（目地の硬化時間は気温、下地状況により変わります。）また、目地を強く押さえ込み、目地の凹凸や深さを調節します。完全硬化する前に、ササラか、毛の硬いブラシで仕上げます。目地仕上げの際、製品に付属した接着モルタルなどはササラや、ブラシで取り除いてください。



## 10 撥水剤塗布

外壁や、外溝などに施工する場合は製品の汚れ防止、および吸水性を抑えるため、撥水剤の塗布をお勧めします。詳しくは、営業担当者までお問合せください。

### ■施工上の注意事項■

- ① 木造モルタル下地の場合、1㎡の製品重量が最大40kgを超える場合があります。ラス網などの固定は、確実に施工してください。
- ② 製品をカットする場合はなるべく、目立たない面で行ってください。また、目地処理にてカット面を覆うようにしてください。
- ③ 製品によっては、タイル貼りのように水平墨を出して施工することをお勧めします。（キャスルストーンなど）
- ④ この製品は、セメント成型品です。吸水率が高いため接着モルタルの硬化必要水分を吸水し、製品の剥離現象の原因となる場合があります。必ず、水浸しを行ってください。特に、真夏炎天下での施工は注意が必要です。
- ⑤ デラクリート(吉野石膏㈱)などのセメント成形板にネオピタ(㈱大建化学)等の接着剤で施工することも可能です。ネオピタにつきましては弊社でも取り扱っております。別途施工要領がありますので営業担当者にお問い合わせください。

### ■メンテナンス■

- ① 製品についた汚れは基本的に水洗いで落とすことができます。排気ガスなど、水だけでは落ちない汚れは中性洗剤で落としてください。
- ② 塩素系の消毒液や、漂白剤は製品を変色させることがあります。直接、製品にかけることは避けてください。
- ③ 製品の表面に白華現象が起きた場合は、市販の白華除去剤で除去して十分な水で洗い流してください。また、水で10倍程度に希釈したお酢を歯ブラシにつけてこすり落とすことも可能です。除去した後は、十分な水で洗い流してください。
- ④ エルドラードストーンはセメント成型品です。融雪剤や塩分との接触は、できるだけ避けてください。
- ⑤ 外装で撥水剤を施工した場合、撥水剤の効果持続時間があります。撥水剤メーカーの取扱説明書に従い、定期的に塗布することをお勧めします。
- ⑥ 製品は50年補償をいたしておりますが、施工条件などにより適用されない場合がございます。詳しくは、工務店、もしくは、営業担当者にご確認ください。